

第102回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

当座預金	未収入金	買掛金	引出金
減価償却費	預り金	備品減価償却累計額	有価証券売却益
売掛金	有価証券	水道光熱費	支払手形
未払金	前払金	受取手形	固定資産売却損
固定資産売却益	売上	現金	前受金
有価証券売却損	給料	仕入	備品

- 北村商店にかねて注文しておいた商品 ¥ 500,000 を引き取り、注文時に支払った手付金 ¥ 50,000 を差し引き、残額は北村商店を名宛人とする約束手形を振り出して支払った。なお、引き取りの際、その運賃 ¥ 10,000 を現金で支払った。
- 平成20年10月31日に、不用となった冷暖房機（購入日：平成15年11月1日、取得原価：¥ 400,000、減価償却方法：定額法、耐用年数：6年、残存価額：取得原価の10%、記帳方法：間接法、決算日：年1回・10月31日）を ¥ 20,000 で売却し、代金は先方振出しの小切手で受け取った。なお、当期分の減価償却費の計上もあわせて記入すること。
- 8月15日に、7月分の電気料金 ¥ 40,000 の請求書を受け取ったので直ちに記帳した。ただし、当座預金からの引落日は、8月25日である。なお、電気料金のうち4分の1は、店主個人用住宅部分に対するものである。
- 先月分の従業員給料から差し引いた所得税の源泉徴収税額 ¥ 200,000 を税務署に現金で納付した。
- 保有している松雪物産株式会社の株式2,000株（取得原価：1株について ¥ 1,000、前期末における時価が1株について ¥ 800であったので、評価替えをし帳簿価額を修正済みで、この評価差額は切放法で処理する方法を採用している）を1株について ¥ 900 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	510,000	前払金 支払手形 現金	50,000 450,000 10,000
2	減価償却費 備品減価償却累計額 現金 固定資産売却損	60,000 240,000 20,000 80,000	備品	400,000
別解	減価償却費 備品減価償却累計額 現金 固定資産売却損	60,000 300,000 20,000 80,000	備品減価償却累計額 備品	60,000 400,000
3	水道光熱費 引出金	30,000 10,000	未払金	40,000
4	預り金	200,000	現金	200,000
5	未収入金	1,800,000	有価証券 有価証券売却益	1,600,000 200,000